

主催：「2022ピースアクションin TOKYO」実行委員会

一般社団法人東友会(東京都原爆被害者協議会)、特定非営利活動法人 東京都地域婦人団体連盟、東京都生活協同組合連合会平和活動担当者連絡会
協力：日本生活協同組合連合会

3年ぶりの東京ウィメンズホール

5月22日(日)に「2022ピースアクションin TOKYO」を、開催しました。今回は3年ぶりとなる東京ウィメンズプラザホールでの開催とあわせてオンラインで配信するハイブリッドでの企画となりました。

閉会後に予定していたパレードは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としましたが、当日会場には96名が集まり、当日オンライン配信は41名(同時接続最大28名)、後日動画視聴希望が42名ありました。

オープニング・コンサートは、シンガーソングライターの中村里美さん、ギタリストの伊藤茂利さん。透き通るような歌声、そして心に響くギターの色で、会場は平和を願う気持ちで一体感に包まれました。

そして、東都生協の吉岡泰子さんからの開会挨拶では「一人ひとりが日々、平和の心を持って歩んでまいりましょう」と会場参加の方、オンライン参加の方への呼びかけからピースアクションはスタートしました。



左:ギタリスト 伊藤茂利さん
右:シンガーソングライター
中村里美さん

曲目

♪What a wonderful world/ひな鳥へ
♪アオギリにたくして/おりづるにのって
♪ネバーアゲイン ♪平和を!



開会あいさつ
東都生協 吉岡泰子さん

平和への思いをひとつに

広島市長・長崎市長からのビデオメッセージ



広島市長 松井 一實氏



長崎市長 田上 富久氏



来賓としてご出席いただいた、広島・長崎両市の東京事務所長のご紹介、続けて広島市長、長崎市長からのビデオメッセージを上映しました。

両市長からは、今後も核廃絶と恒久平和実現に向けて共に力を尽くし発信していくことを表明されました。

語り継ぐ 「核兵器のない未来と原子力に頼らない世界を」



お話し 久慈敏子さん

語り継ぐことの難しさに直面しながらも、今年の被爆証言はDVD上映にて行いました。

「久慈敏子さんの証言はあまりにも悲惨な出来事を淡々と語られる様子に胸が痛み苦しくなりました。原爆被爆者の平均年齢が83歳を超えたと聞き、この出来事を絶対に語り続けていくことの大切さも考えさせられました。」と参加者から感想が寄せられました。

東京から平和を

核兵器廃絶に向けた アピール文の朗読・採択



アピール朗読
東友会 村田未知子さん

日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を強く求め、核兵器廃絶を訴え続けることを誓うアピールを朗読し、拍手で採択されました。

参加団体による平和の取り組みリレートーク

コロナ禍においても様々な工夫をしながら、平和の大切さを伝える活動について各団体から報告がありました。

参加者からは「各団体のリレートークはいろいろな視点から平和の輪を広げていて、たくさんの気付きがありました。」との声がありました。



リレートーク参加団体 コープ
みらい/バルシステム東京/東
都生協/日本生協連/東京保
健生協/東京地婦連/東友会

アンケートに寄せられた 平和を願うメッセージ



🌍世界から戦争がなくなりますように。
だれもが多様性、考え方の違いを認め合い、互いを尊重していけますように。

🌍戦争はたくさんの人から幸せを奪う。平和は生活の基本。平和は当たり前ではなく、自分達で作り、守るもの。子どもたちに明るく平和な未来を。

